



新川なぎさ会、国交省から表彰

「新川なぎさ会老人クラブ」は、20年間、月に1回、新川海岸の清掃活動を行っており、その功績が讃えられ、国土交通省四国地方整備局から、局長賞を受賞されました。

現会長の乗松豊一さん(下吾川)は、「これまでの先輩方の功績により受賞した。これからも引き続き清掃活動を実施していきたい」と話していただきました。



中山地区でホタル幼虫の放流

8月29日、中山中学校の生徒が、伊予中山ホタル保存会の指導を受け、育てたゲンジボタルの幼虫を中山小学校の5年生と一緒に中山川に放流しました。

中山中の生徒は、総合的な学習の時間の中で6月初旬にホタルを捕獲し、ガーゼで卵を育て、ふ化させました。一生懸命にホタルを育てた生徒たちは、「美しいホタルの光を見るのが楽しみ」と話していました。

青色回転灯で児童の安全を

9月3日、市内のすべての小学校で青色回転灯を装備した車の出発式が行われました。

青色回転灯を装備した車は、児童の登下校などを中心に学校の先生が家用車に設置し、防犯パトロールを行います。南山崎小学校の集団下校時に行われた出発式では、児童たちと一緒に青色回転灯を装備した車が、児童たちの安全を守るために出発しました。



第100回伊予市職域野球大会

8月19日、しおさい公園市民球場で『第100回伊予市職域野球連盟夏季大会』が開催されました。

昭和31年から始まったこの大会は、100回の記念大会を迎え、開会式では、功績者に対し功労賞と記念ボールが手渡されました。今大会には、市内の13事業所が出場し、栄えある優勝に輝いたのは、日本通運チームでした。



南伊予ふれあい運動会

8月25日、伊予小学校グラウンドで『南伊予ふれあい運動会』が開催されました。

昨年は、始まってすぐに大雨が降り、中止となった運動会も今年は雲ひとつない晴天に恵まれ「ふれ合おう元気いっぱい南伊予」を大会スローガンに、小さな子どもから高齢者までが一緒になって、いろいろな競技を楽しんでいました。



中山地区総合防災訓練

9月2日、中山高校グラウンドで『中山地区総合防災訓練』が行われました。

中山地区の多くの住民が参加した訓練では、倒壊した建物などから逃げ遅れた負傷者を救出する訓練や火災防ぎょ訓練、竹と毛布を使った担架の作り方や住宅火災警報器の設置指導などが行われ、参加した住民は真剣に訓練に臨んでいました。



夕焼けプラットホームコンサート

9月1日、JR下灘駅で『第22回夕焼けプラットホームコンサート』が行われました。

夕日をテーマにしたオリジナル曲で、テープ審査を通過したアマチュアミュージシャン2組と、10月にメジャーデビューが決定したプロゲスト「グックル」が出場しました。

当日は、あいにくの曇り空で海に沈む夕日は見られなかったものの、夕焼けトロッコ列車や地元特産品が当たるお楽しみ抽選会が行われるなど、来場者は、伊予灘をバックに流れる心地良い音楽と、秋風を肌で感じる気持ち良いひと時を満喫していました。



サマーフェスティバル

8月26日、台風4号の影響で延期となっていた『五色姫海浜公園サマーフェスティバル』が1日に短縮して開催されました。

「ビーチバレーフェスティバルINいよし」には、2人制のファーストクラスに15チーム、4人制のセカンドクラスに29チームが参加。真夏の日差しにも負けず、試合を楽しんでいました。また、午後には、餅撒きや宝探し大会も行われ、多くの家族連れでにぎわいました。



宝探し大会



ビーチバレーフェスティバル



港南中3部活、全国大会出場

8月15日、県大会や四国大会を勝ち抜き、全国大会への出場権を獲得した港南中学校生徒19人の激励会が行われました。出場種目は、陸上競技・柔道・女子バスケットボールの3種目で、女子バスケットボールは、34年ぶりの出場となり、激励会では、「一戦一戦を大事に戦っていきたくです」と全国大会への意気込みを話していました。



柔道全国大会出場激励会

8月13日、第4回全国小学生学年別柔道大会に出場する3人の激励会が市長室で行われました。

県大会を勝ち抜き、見事出場権を手にしたのは、藤岡将吾さん(伊予双葉柔道会)、酒井智大さん(伊予双葉柔道会)、亀岡妃香さん(伊予柔道会)の3人で、市長との歓談では、一人ひとりが全国大会に向けた抱負を力強く話していました。